

オーストラリア乳業の 持続可能性



THRIVE
TOGETHER
WITH AUSTRALIAN DAIRY

土地、水、家畜を必要とし、人々に栄養を供給するために人を雇う産業として、私たちは、業界とお客様が繁栄する持続可能な未来を確保するために、常にベストを尽くしています。

そのために、オーストラリア乳業界は、より健康な世界のために栄養価の高い食品を提供することを誓います。

この約束こそが、世界をリードする「オーストラリア乳業持続可能性枠組み」の核心です。

その枠組みの中で、私たちは次のような取り組みを行っています。

- 経済性・生計の向上
- 家畜のために最良のケアを提供
- 環境への影響を軽減
- 関係者と地域社会のウェルビーイングの向上

毎年、進捗状況を報告し、枠組みを改善することで、約束を遵守していることを確認しています。

「オーストラリア乳業持続可能性枠組み」10年目という節目は、業界にとって、これまでの成果、現在の環境、そして今後の取り組みを改善するために何ができるかを振り返る機会となります。

オーストラリア乳業界は2030年以降を見据え、枠組みのゴールと目標を見直し、協力して必要な実践の改善を図ります。

将来がどうなるかと、私たちはより迅速に行動する必要があります。乳製品が持続可能な食生活の一部として、またより健康な世界のための貴重な栄養源として受け入れられ続けるために、さらなる努力が求められます。

**人と地球の持続可能な未来のために
協力し合えば、共に繁栄することが
できるでしょう。**

乳業界における生計の向上

オーストラリア乳業界は、国内外の人々、地域社会、企業が共に繁栄できる活気ある業界作りに取り組んでいます。

業界が将来にわたって繁栄し続けるよう、技術革新と経済的な回復力に重点を置いています。

その鍵となるのが、酪農家のスキルアップを支援する「People in Dairy: 乳業に携わる人々」プログラムや、酪農家が業績を向上させ、強さと俊敏性をもって変動に対処するための研修サポートを提供する「Our Farm, Our Plan: 私たちの農場、私たちの計画」プログラムなどの教育活動です。

資料

82%の酪農家が自身の事業の将来性に自信を持っている(2021年比で2%増)¹

収益性は引き続き改善されており、調査回答者の88%が2020/21年に営業利益を計上し、90%が2021/22年にそうなると予想している²

1,2 2022年全国酪農家調査

ウェルビーイングの向上

オーストラリア乳業界は、栄養価が高く、安全で高品質な乳製品と食材を提供することで、世界中の人々のウェルビーイングを向上を目指しています。

業界は、安全な製品を製造し、リコールを減らし、食品安全文化を乳業事業に根付かせることに尽力しています。

オーストラリア食生活ガイドラインの見直しに積極的に関与し、健康で持続可能な食生活に乳製品が不可欠であることを示す研究に協力しています。

資料

乳製品は、オーストラリアの食事ガイドラインの中核をなす食品群³

食事に乳製品を多く取り入れることにより、高齢者の転倒が11%、骨折が33%減少⁵

オーストラリア乳残留農薬分析 (AMRA) 調査において、不適合な残留農薬がゼロ⁴

3 オーストラリア食事ガイドライン、国立保健医療研究評議会

4 オーストラリア乳残留農薬分析 (AMRA) 調査 2021/22年

5 食事によるカルシウムとタンパク源の摂取が入所高齢者の股関節骨折と転倒に及ぼす影響：クラスター無作為化比較試験 (2021年)、British Medical Journal: 英国医学雑誌

事例紹介



成功への道筋

2年前、Simpson の酪農家 Craig Bennett と Sophie Bennett は酪農業から離れる計画を立てていましたが、今では酪農業での長期的な未来に向けた計画を立てています。

転機となったのは「Our Farm, Our Plan」です。この学習プログラムは、酪農家がビジネススキルを身につけ、長期目標を定め、業績を向上させ、変動に対応できるようにするためのものです¹²

『「Our Farm, Our Plan」で、私たちは目標と、それを達成するための道筋を明確にしました。目標を明確にすることで、道筋をつけるのがとても簡単になりました。』

私たちは最大のリスクを特定し、それらに取り組むための手順を整えました。』 Craig Bennett と Sophie Bennett

12 シンプソン酪農家、酪農撤退計画からUターン、ガーディナー財団

事例紹介



乳製品は転倒や骨折のリスクを軽減する

骨の健康状態の悪化は、加齢に伴う事実だ。年を取るにつれ、転倒して弱った骨を骨折する可能性が高くなる。

英国医学雑誌に掲載されたオーストラリアの画期的な新しい研究によると、高齢者介護施設入所者の転倒と骨折のリスクを減らすために、私たち全員が簡単に変更できることがあることが判明しました。

乳製品の摂取を増やすことだ。

高齢者介護施設入所者の乳製品摂取量を1日3.5食に増やしたところ、2年間で骨折が33%、股関節骨折が46%、転倒が11%減少しました。¹³

13 食事によるカルシウムとタンパク源の摂取が入所高齢者の股関節骨折と転倒に及ぼす影響：クラスター無作為化比較試験 (2021年)、British Medical Journal: 英国医学雑誌

家畜のための最高のケアを保証する

家畜に対する卓越したケアは、顧客や関係者の期待だけでなく、乳業界全体の倫理的責任でもあります。

オーストラリア乳業界は、すべての家畜の健康、福祉、生涯を通じた最善のケアを目指しています。

これを達成するために、業界は、「畜牛のためのオーストラリア家畜福祉基準とガイドライン」、「家畜陸上輸送のためのオーストラリア家畜福祉基準とガイドライン」を遵守するよう徹底しています。また、2005年以来、家畜福祉の改善を追跡し、改善の機会を特定するために、「畜産調査」を実施しています。

資料

9割の農場で冷房インフラを整備し、熱ストレスの防止に努めている⁶

2022年までに日常的な分娩誘導を廃止する目標を達成⁷

2021年 抗菌薬管理に関する新たな指標を導入⁸

6 酪農トラストトラック調査 2021年
7,8 オーストラリア乳業持続可能性枠組み

環境負荷の低減

オーストラリア乳業界は、人と地球を守る役割と責任に配慮しています。

乳牛から排出されるメタンを削減する農場での取り組みから、乳製品パッケージの再生性を高める技術革新まで、業界はサプライチェーン全体で環境への影響に対処するよう懸命に努力しています。

業界は、2030年までに温室効果ガスの排出強度を30%削減することを約束しており、2010/11年以降、オーストラリアの乳業メーカーによる排出強度の削減はすでに25.5%に達しています。

資料

74%の農家が搾乳場で再生水を使用⁹

94%の農場でGHG排出量削減の取り組みを実施¹⁰

乳製品加工で生じた廃棄物の埋め立て処分からの転用が、前年度(2019/2020年)76%に対し93%に改善¹¹

9 土地、水、炭素調査2020年
10 2020年オーストラリア乳業持続可能性報告書
11 乳業メーカー持続可能性評議会

事例紹介



繁殖と牛の福祉

Datagene: データジーンは、オーストラリア乳業における遺伝的利益と牛群改良のための最新のツールとリソースを開発する乳業界所有の組織です。

データジーンは耐暑性のオーストラリア繁殖用遺伝値を開発し、酪農家が高温多湿の条件に対する耐性を向上させた牛を繁殖できるようにしました。この特性は、温暖化する気候の中でますます重要になる可能性があり、動物福祉にも貢献します。¹⁴

14 Data Gene.

事例紹介



Ellinbank: エリンバンク: カーボンニュートラルに向けて

エリンバンクのスマートファームは、酪農革新をリードしており、研究環境で革新的な技術ソリューションを迅速に開発し、500頭の牛を飼育する酪農場で乳業界に発表しています。

スマートファームは、メタン排出量の削減、肥料と糞尿管理方法の改善、風力、太陽光、バイオ分解などの代替エネルギーによる発電を通じて、世界初のカーボンニュートラルな酪農場になるという野心的な目標を掲げています¹⁵

15 Agriculture Victoria.

お客様への約束

2012年以降、「オーストラリア乳業持続可能性枠組み」を通じ、持続可能性に関する各公約のゴールと目標を追跡、測定、公表しています。

進捗状況は dairy.com.au/sustainability でご覧いただけます。

詳細情報

詳細については、QRコードをスキャンしてください。



経済性と生計の向上

乳業従事者とその家族、地域社会、企業、投資家が報われる活力ある業界の実現



1 競争力と収益性の向上



2 地域社会の回復力と繁栄の向上



3 すべての乳業従事者に安全な労働環境を確保する



4 生産的で働きがいのある職場を提供する



人々のウェルビーイングの向上

栄養価が高く、安全で高品質な乳製品の提供



5 安全な乳製品を保証



6 健康増進への貢献



家畜へのベストケア

家畜の生涯を通じた健康、福祉、ベストケアに努める



7 家畜への生涯を通じたベストケアの提供

- 家畜福祉基準の完全遵守
- すべての業界で採用されている推奨実施事項
- 抗菌剤管理体制 - 乳業界は責任を持って抗生物質を使用する



環境負荷の低減

気候変動への対応と天然資源の適切な管理



8 土地管理の改善



9 水利用効率の向上



10 GHG 排出原単位の低減



11 廃棄物の削減

免責事項

本書の内容は、乳業界の業績やデーリーオーストラリアの取り組みなど将来の事柄に関する記述を含め、作成時にデーリーオーストラリアが入手した情報に基づくものであり、デーリーオーストラリアは、内容に誤りや脱落がないことを保証せず、本書の使用または依存について一切の責任を負わない。この情報は特定の状況を考慮して作成されたものではなく、発行日以降は最新でない可能性がある。従って、本書で提供される情報を使用または信頼する前に、必ず自身で問い合わせを行い、専門家のアドバイスを受けること。